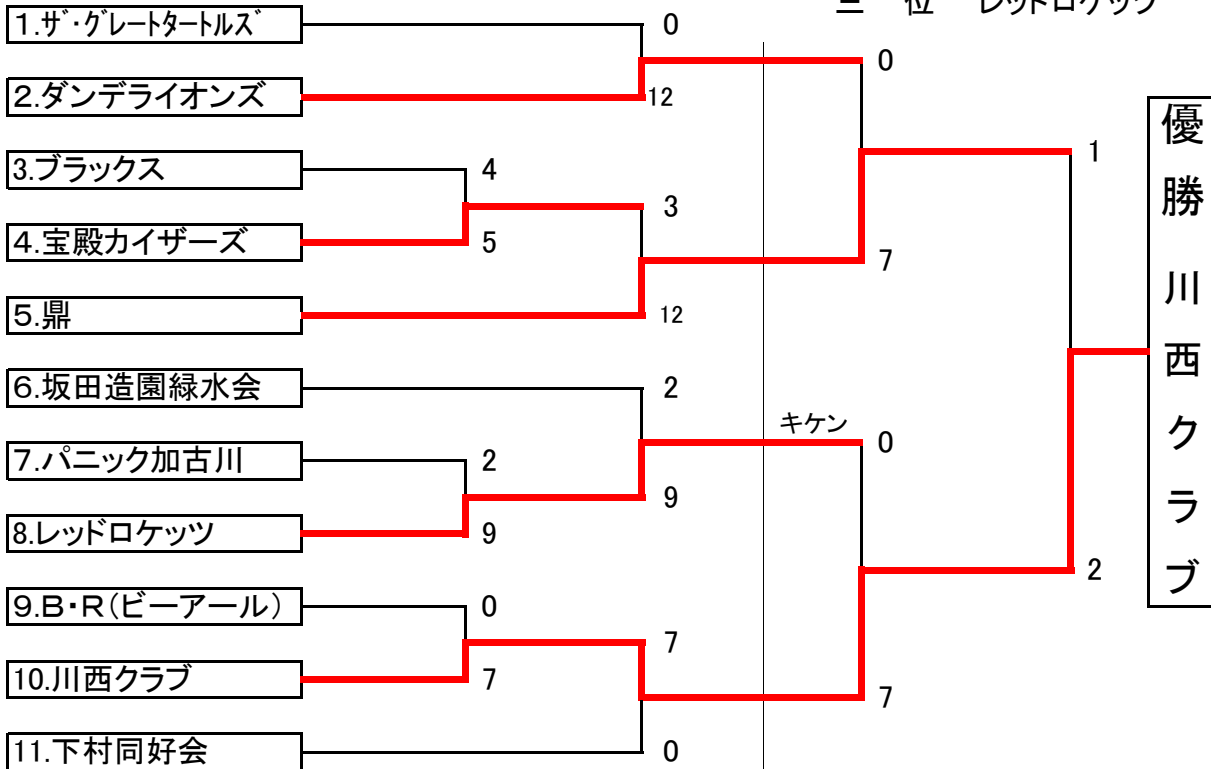


# 平成23年度 県協会長旗加古川予選

平成23年度6月6日・7月3日  
加古川河川敷両荘グラウンド

優勝 川西クラブ  
準優勝 鼎  
三位 ダンデライオンズ  
三位 レッドロケッツ



1回戦	パニック加古川 レッドロケッツ	$\frac{0\ 1\ 0\ 0\ 1}{1\ 8\ 0\ 0\ \times}$	5回コールド	$\frac{2}{9}$ 中本—中田 佐藤—二口
1回戦	B・R(ビーアール) 川西クラブ	$\frac{0\ 0\ 0\ 0\ 0\ 0}{1\ 0\ 1\ 2\ 2\ 1\ \times}$	6回コールド	$\frac{0}{7}$ 神子島—伊保 部原—原田
1回戦	宝殿カイザーズ ブラックス	$\frac{0\ 0\ 0\ 2\ 1\ 0\ 0\ 0\ 2}{2\ 1\ 0\ 0\ 0\ 0\ 0\ 0\ 1}$	9回タイブレーカー	$\frac{5}{4}$ 松山—大林 宮坂—橘
準々決勝	下村同好会 川西クラブ	$\frac{0\ 0\ 0\ 0\ 0\ 0}{3\ 0\ 2\ 0\ 0\ 2\ \times}$	6回コールド	$\frac{0}{7}$ 北川—本岡 難波—原田
準々決勝	坂田造園 緑水会 レッドロケッツ	$\frac{0\ 0\ 2\ 0\ 0}{2\ 0\ 2\ 0\ 5}$	5回コールド	$\frac{2}{9}$ 坂田—魚住 佐藤—二口
準々決勝	鼎 宝殿カイザーズ	$\frac{1\ 0\ 4\ 7\ 0}{1\ 0\ 0\ 0\ 2}$	5回コールド	# $\frac{濱口—鈴木}{3}$ 松山—大林
準々決勝	グレートトータルズ ダンデライオンズ	$\frac{0\ 0\ 0\ 0\ 0}{3\ 4\ 1\ 4\ \times}$	5回コールド	$\frac{0}{\#}$ 筧—山口 桜井—原田
準決勝	鼎 ダンデライオンズ	$\frac{0\ 7\ 0\ 0\ 0}{0\ 0\ 0\ 0\ 0}$	5回コールド	$\frac{7}{0}$ 濱口—鈴木 桜井—原田
準決勝	レッドロケッツ 川西クラブ	—————	棄権	$\frac{0}{7}$
決勝	鼎 川西クラブ	$\frac{0\ 0\ 1\ 0\ 0\ 0\ 0}{0\ 0\ 0\ 1\ 1\ 0\ \times}$		$\frac{1}{2}$ 濱口—鈴木 部原—山名



平成23年度 県協会長旗加古川予選

試合日	2011年7月3日	第二日目	決勝	球場名	加古川河川敷グランドDコート	第2試合
試合開始時間10時32分		試合終了時間11時55分		試合時間1時間23分		中断時間
審判員	(球審) 松山信司	(一塁) 坂尻末吉	(二塁) 藤原敏明	(三塁) 金井三良	(副審) 塚越正則	
記録員	丸橋正和	補助記録員		放送委員		会場名 河川敷Dグランド

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	勝利・敗戦投手	
鼎	0	0	1	0	0	0	0				1	勝	部原光也
川西クラブ	0	0	0	1	1	0	×				2	負	濱口康彰

チーム名	投手	捕手	打者	安打	犠打	四球	死球	三振	盗塁	失策
鼎	濱口康彰	鈴木有一	26	6	0	0	0	6	1	1
川西クラブ	部原光也	山名秀和	26	3	4	3	0	0	0	2

チーム名	長打(本塁打・三塁打・二塁打)
鼎	(二塁打) 濱口康彰
川西クラブ	(二塁打) 藤本 護

(戦評) 川西クラブ辛勝

鼎は3回二死から3塁強襲安打から盗塁で二塁とし4番鈴木の本塁強襲安打で1点を先制した。川西クラブも4回二死からヒットと相手のエラーなどからチャンスを作り7番藤本の二塁打で同点に追いついた。5回にも四球から相手の野選で1・3塁とし4番山名のライトへの犠牲ライナーで1点勝ち越した。鼎も6回エラーから一死3塁とし5番武田のセンターフライで三塁走者がタッチアップからホームを狙ったが川西センターの坂口の好返球で惜しくも得点を阻まれた。